

迎春



平成25年1月4日(金)発行【隔月(年6回)発行】

発行部署 : ソリューション営業本部ソリューション営業部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4620
発行責任者 : 白土 雄二郎
お問合せ窓口 : 古田 泰幸

新年あけましておめでとうございます。旧年中は皆様方の格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も最新情報満載の「LIFE TIMES」をどうぞ宜しくお願い申し上げます。白土 雄二郎

第103号

【目次】

1. 第2三恭丸 進水式挙行
2. 中型免許の影響
3. RFIDの動向、及び社内勉強会報告
4. 適正在庫シミュレーションのご紹介
5. 菱化ロジテック社 ～中部支店紹介～
6. 国際物流総合展2012 参加レポート
7. 2012洗浄総合展 参加レポート



1. 第2三恭丸 進水式挙行

— KAITEKI物流の実現に向けた船体構造で建造 —

2012年11月30日、支配船としてリプレースを実施している「第2三恭丸(船主:恭海海運社)」の進水式が、爽やかな青空の下、建造会社である伯方造船社(愛媛県今治市伯方町)にて執り行われました。本式典には、荷主様をはじめ各方面より多数の方にご来賓として出席いただき、「支綱切断」で船体は豪快に船台を滑りながら無事に進水しました。造船所関係者にも「あまり見たことがない」と言わせるほど見事な進水で、将来の安全・安定運航が期待されます。

本船は、旧「第2三恭丸」が建造から19年を経過し、老朽化が進んできたことから、荷主様と協議の結果、安全・安定輸送を実現すべく、リプレースを決定した船舶です。特徴としては、輸送製品であるコールドタール・クレオソート油が高温(60℃～100℃程度)であることから、船体の寿命を延ばすことを目的に、貨物タンクとバラスタタンクの間スペースを作り、高温製品の影響によるバラスタタンク腐食を軽減する「魔法瓶構造」を採用、また電子制御式エンジンを搭載し省エネ運航を実現、地球環境に配慮した仕様となっております。

本船は、2013年2月中旬から輸送業務に従事する予定です。



2. 中型免許の影響

2007年6月の施行から5年が経過した中型免許制度の影響が、徐々に表面化してきているようです。現行の制度では車両総重量が5t以上の車両は、普通免許では運転ができません。車両総重量が5t未満の車両しか保有していなければ、普通免許しか取得していない人を採用しても問題はありませんが、業務上、車両総重量5t未満のトラックを保有することが難しい事業者は、普通免許しか持っていないドライバーの採用は難しいという事情があるようです。車両総重量5t未満の車両だと積載量が2tに満たなくなることもあり、輸送量を考えるとそういった車両を保有することへの抵抗も影響していると考えられます。

上記の理由から普通免許しか持たない就職希望者の採用を見送るケースもあるようです。

トラック運送業界では、この中型免許制度の導入以降、中型免許取得のために教習所に通う費用を補助したり、教習所に通うための有給休暇を与えるなどの取り組みが行われてきましたが、「補助するだけの余力がない。取得させてもすぐに辞められたら困る」という理由で、中型免許を持った人しか採用しないケースも聞かれます。

ただでさえ少子高齢化で若年労働者の確保が難しい状況に、中型免許制度によって採用が難しくなると、人手不足はますます深刻化するかもしれません。

大型・中型免許保有者数自体も伸び悩む中、普通免許でもドライバーとして有効活用できるよう、何かしらの対策が講じられることが望まれます。

種別		2010年末	2011年末	増減率(%)
第二種免許	大型	1,068,347	1,046,361	-2.1
	中型	938,239	906,792	-3.4
	普通	199,026	205,471	3.2
第一種免許	大型	4,494,752	4,466,688	-0.6
	中型	67,744,252	67,011,600	-1.1
	普通	4,352,938	5,514,092	26.7

3. RFIDの動向、及び社内勉強会報告

RFIDタグについては過去にも掲載していますが、最新の動向のオーソライズや社内の情報共有のために勉強会を実施しました。勉強会の主眼は、バーコードとRFIDを比較してRFIDだけが持っている利点を把握し、これを生かした活用方法を周知するというものです。

以下に勉強会の内容を報告します。

バーコードと比較してRFIDだけが持っている利点としては、①データ書換え・追記機能、②電波を通信媒体とする透過機能、③複数一括読み取り機能の三つがある。

この特徴を生かした活用方法を以下に挙げる。

- リライタブルRFタグシート(シート面も再印刷可能である)
→RFIDカンバンやスイカなどの定期券もこの一つである。
- 箱の中にあるものなどを一括認識する時など。
→暗くて見づらい場所にあるものを認識する時にも。
- 重なっていて、ひとつひとつを取り出しにくい状態のものを一括認識するとき。
- 埃、汚れ、水濡れ等により、紙面では耐久性が確保できない場所での利用。
- 移動させながら一括認識するとき。
→搬送ライン上や、入出庫時の庫内ゲート通過時など。

実際の活用事例として「リライタブルRFタグシートを活用した部品供給管理システム」を取り上げて、導入前と導入後の違いを検証しました。紙カンバンを使っていた時とRFIDカンバンに変更した後の違いを運用フローから比較し、作業効率の大幅な改善が実現(一括読み取り検品により検品精度の向上、関連作業の効率化)されたことが解りました。さらに紙カンバン使用時とRFIDカンバン導入後を比較したビデオを見ましたが、入出荷検品にかかる作業時間が格段に短縮されたことが特に印象に残りました。

4. 適正在庫シミュレーションのご紹介

物流の効率化テーマは多岐にわたりますが、その中でもよく取り上げられるテーマの一つに在庫削減があげられます。在庫削減に多くの企業は取り組んできましたが、東日本大震災以降、在庫を削減する手法だけではなく、リスク等を考慮した適正な在庫量の把握、適正な在庫量の維持方法、といった点に改めて関心が高まっています。

そこで今回は、改めまして当部における適正在庫シミュレーションをご紹介します。

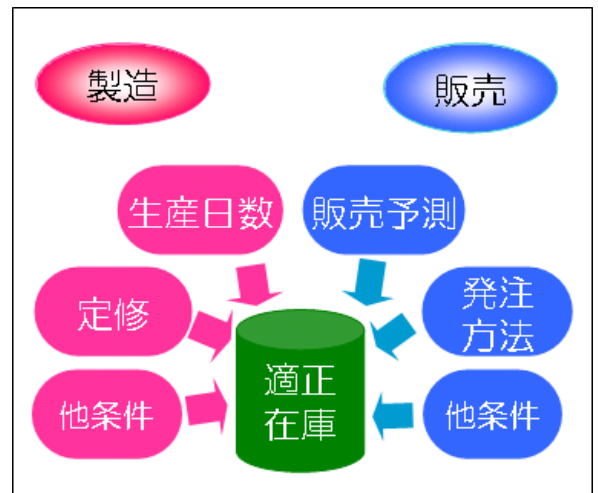
当部は三菱化学社技術部と長年にわたり、共同でノウハウの蓄積と技術開発を行ってきました。

その特徴としましては、「製造」と「販売」の各種条件を詳細に考慮し、適正在庫量を算出する点にあります。

例えば、「製造」の条件であれば、一度に生産可能な数量、生産に必要な日数、定修期間（製造休止期間）の有無などです。「販売」の条件であれば、需要の頻度（販売予測）、発注方法（定期発注か、発注点方式か）、などが条件として考慮可能です。

また、当部では適正在庫量の見極めだけでなく、その適正在庫量での運用を維持するための具体的方法のご提案も行っております。

今後は、お客様のニーズに合わせて、より分かりやすい、簡易版のシミュレーションの開発等にも取り組んで参ります。



適正在庫算出のイメージ

5. 菱化ロジテック社 ～中部支店紹介～

菱化ロジテック中部支店は、四日市コンビナート地区の三菱化学四日市事業所の近くに位置し、ローリー部門、トラック部門、生産物流部門、車両整備部門の4部門の実働部隊にて、主に三菱ケミカルホールディングスグループ製品の物流を担当しています。輸送部門ではタンクローリー77台、トラック19台を保有し、危険・毒・劇物、一般品を東北地方から九州地方にかけて運搬しています。特に危険物の運送では、荷役、走行には細心の注意が必要とされ、乗務員への極細な教育を実施して、事故・トラブルの「ゼロ化」が我々最大の使命と自覚しています。また、生産物流部門においては三菱化学四日市事業所内のカーボンや樹脂などの包装・荷役を43名の要員が昼夜を通して作業をしています。さらに、車両整備部門は、社内的大型トラック、フォークリフトはもちろんのこと、民間車検場として、一般顧客の車検も行っています。支店長の小池以下我々中部支店、総勢123名、全員が物流会社として、三菱化学物流と共に、荷主への信用をより強固にすべく、コンプライアンスの遵守・リスク低減対策などのRC業務を更に深化させ、「安全を最優先」に日々努力しています。「ご安全に！」

【ローリー部門】



【トラック部門】



【生産物流部門】



【車両整備部門】



6. 国際物流総合展2012 参加レポート

前号でご紹介した「国際物流総合展2012」の参加レポートの第2弾です。

当社取り扱い製品でファイバードラムやフィルムロールなど円柱状の荷姿の製品を出荷時に荷崩れ防止のためPPバンド等で養生するケースが多いのですが、こういった作業工程は形状やパターン数等により作業者による手作業で行われています。今回とある梱包機器メーカーのブースを覗いたところ、やはり展示やデモをしたのは食品や小包等四角ケースを、垂直にPPバンドで締める機器の紹介ばかりだったのですが、話を聞くとそのものズバリはないものの、少し改良することができれば当社が取り扱っている製品形状でも対応できそうな機器になるのでは、といったヒントを得ることができました。

上記の例だけでなく、通常こちらの要望を100%備わっている機器、設備は少ないのではと思います。

しかし、我々の役目は現場やお客様の要望に沿うよう架け橋となり効率化につながるご提案をすることです。今、直接関連付かない事柄も何かの機会に結びつく可能性も多分にありますので、今後とも積極的に展示会やセミナーに参加し情報収集、ノウハウの蓄積に努め物流のソリューションプロバイダーとしてお客様ならびに現場作業者皆様の効率化に貢献したいと思います。

7. 2012洗浄総合展 参加レポート

2012年10月17日～19日までの3日間、東京国際展示場(ビックサイト)で開催された「2012洗浄総合展」に参加してきました。

約100団体の出展があり、3日間合計約30,000人の来場者があったそうです。

今回で15回目をむかえる洗浄総合展はメインテーマを「未来を広げる洗浄技術」と掲げ、日本の洗浄技術のさらなる向上はもとより、震災からの復興に寄与する技術についてもテーマに織り込み、社会的に意義のある国内最大規模の専門展示会です。①除染対策総合、②安全、③新分野、④食品産業用洗浄関連製品、⑤食品産業用洗浄関連製品、⑥半導体洗浄・超純水、⑦医療機器洗浄関連製品、⑧屋外展示・実演の8ゾーンから構成され、洗浄機器、システム、溶剤、回収機器・装置、周辺機器が一堂に会していました。

高圧洗浄作業を安全に行う事ができる防護着や手袋、搭乗式高圧洗浄機(高圧洗浄車)の展示があり、汚染・粉塵現場での清掃作業に役立つような情報がありました。

なお今回の開催は、「2012土壌・地下水環境展」「VACCUM2012ー真空展」「Japan Robot Week 2012/ロボットイノベーション2012」と同時開催しており、この4展が同じ会場で開催することで「環境」と「モノづくり」をキーワードに、様々な技術を見ることができました。



ソリューション営業部 吉田 達也

新年明けましておめでとうございます。皆様、新年はいかがお過ごしでしたでしょうか。冬の青空も、特に三が日は、日頃には無い静けさが加わり、清々しい趣があるものですが、私は賑わいを求めて街に繰り出すのが好きです。初詣や初売りの活気に触れると、その年もまた充実した一年にしよう！という気持ちになります。

昨年、年の瀬に総選挙がありました。政治経済の先行きは未だ不透明な状況です。年始に養った英気で、(時々充電しながら?)パワフルに乗り切っていきたい、と思っています。